施工説明書

2007.2

TOTO

廊下・階段手すり

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。
取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

1 安全上の注意（安全のために必ずお守りください）

取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。

●この説明書では商品を安全に正しく取り付けていただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

表　示	意　　味
⚠注意	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、傷害または物的損害が発生することを示しています。

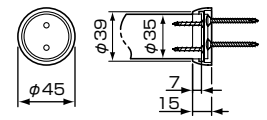
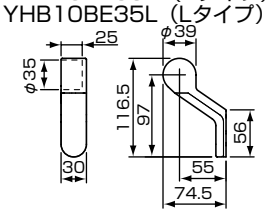
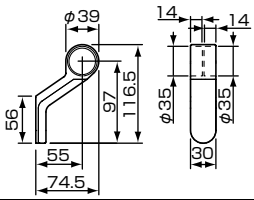
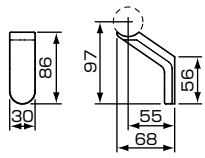
●お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

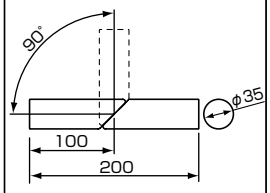
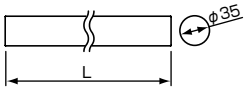
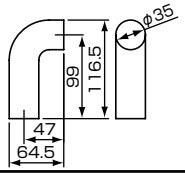
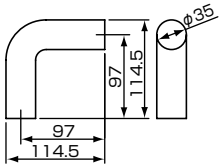
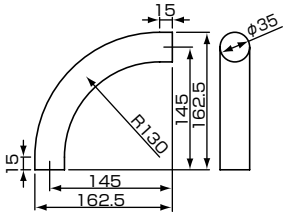
🚫	してはいけない「禁止」内容です。
🔧	分解しないでください。
❗	必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠ 注　意

禁止	**屋外や浴室などの、水がかかったり湿気が多い場所には取り付けない また、下地および商品を水にぬらさない** 部材の腐食のため、手すりが折れやすくなり、けがをするおそれがあります。	分解禁止	**修理技術者以外の人は、絶対に分解したり、修理・改造は行わない** 故障の原因になります。
必ず実行	**必ず強度のある壁・建築構造体に取り付ける 壁自体に強度がない場合は厚み12mm以上の合板または、同など以上の下地に取り付ける** 土壁・石膏ボード壁などの強度のない壁に直接取り付けると、手すりが外れたり、壁が壊れたりして使用される方が転倒し、けがをするおそれがあります。		
	必ず同梱のねじ、または当社指定の固定金具を使用する 同梱のねじ、または当社指定の固定金具を使用しないと、手すりが外れたり、壁が壊れたりして使用される方が転倒し、けがをするおそれがあります。		
	ブラケット（取付金具）は必ず指定寸法に従って取り付ける 手すりが外れたり折れてしまうことで、けがをするおそれがあります。		**取り付け完了後、手すりにガタツキがないことを確認する** 手すりにガタツキがあると、手すりが外れたり、壁が壊れたりして使用される方が転倒し、けがをするおそれがあります。
	差し込み形式のブラケットでは、木製部品は奥まで差し込んで固定する 取り付けが不安定となり、けがをするおそれがあります。		**木製部品の固定ねじは、必ず適切な下穴をあけてからねじ込む** 木製部品が割れ、取り付けが不安定となり、けがをするおそれがあります。

2 各部品の寸法・形状

名称	壁付エンドブラケット	L付エンドブラケット	L付ジョイントブラケット	L付受ブラケット
品番	YHB10BB35	YHB10BE35R（Rタイプ） YHB10BE35L（Lタイプ）	YHB10BJ35	YHB10BU35
寸法図				
付属品	タッピンねじ（φ3.5×16）：2本 タッピンねじ（φ　4×40）：3本	タッピンねじ（φ3.5×16）：1本 タッピンねじ（φ　4×40）：4本	タッピンねじ（φ3.5×16）：2本 タッピンねじ（φ　4×40）：4本	タッピンねじ（φ3.5×16）：2本 タッピンねじ（φ　4×40）：4本

名称	自在コーナー（木製）	手すり（木製）	エンドL型（木製）	コーナー材L型（木製）	コーナー材90°（木製）
品番	YHB10CF35	YHB22AF35（L=2m） YHB24AF35（L=4m）	YHB26CE35	YHB26CL35	YHB26CR35
寸法図					

3 取り扱い上の注意

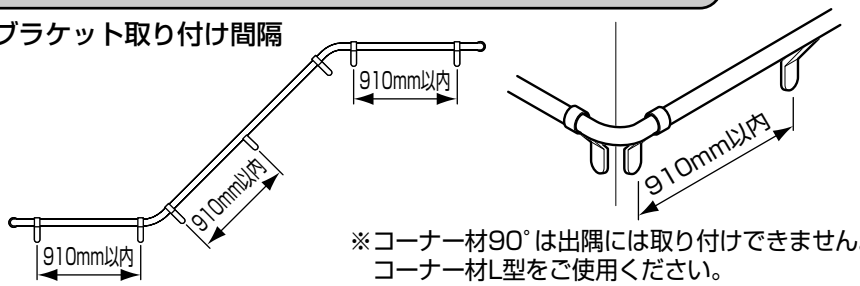
商品に硬いものや重たいもの、鋭利なものをぶつけないでください。また、商品を落とさないでください。
商品が傷ついたり破損するおそれがあります。

4 ブラケットの設置条件

注　意

ブラケットは必ず指定寸法に従って取り付けてください。

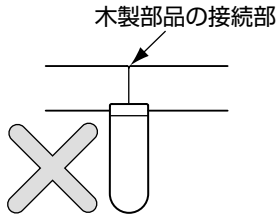
■ブラケット取り付け間隔



※コーナー材90°は出隅には取り付けできません。
コーナー材L型をご使用ください。

■L付受ブラケット

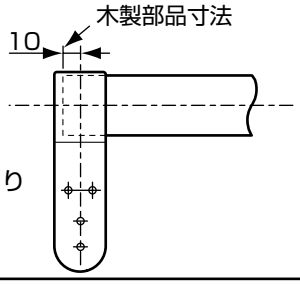
※木製部品の接続部にL付受ブラケットは使用できません。L付ジョイントブラケットを使用してください。



5 木製部品とブラケットの取合寸法

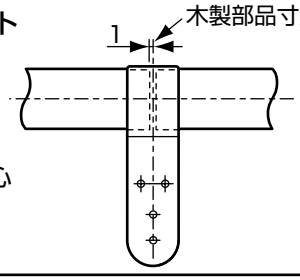
下図を参考に、木製部品の切断寸法を計算してください。

■L付エンドブラケット



ブラケット中心基準より
10mm長い

■L付ジョイントブラケット

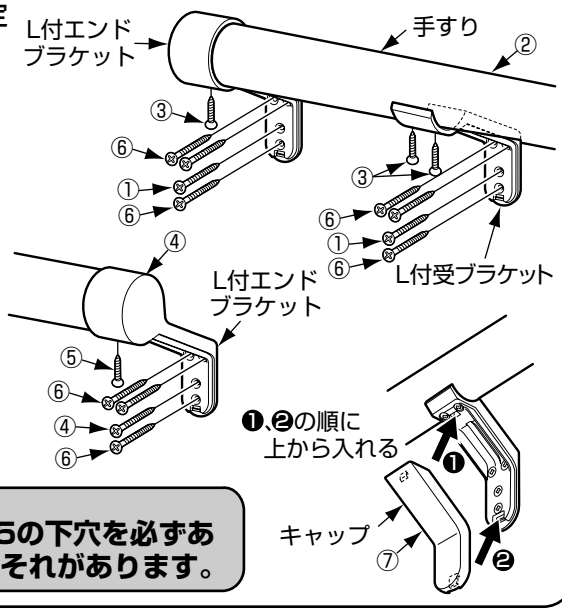


片側でブラケット中心
基準より1mm短い

6 各部材の取付方法

■ L付エンドブラケット、またはL付ジョイントブラケットとL付受ブラケットの固定

①片側のL付エンドブラケットまたはL付ジョイントブラケット以外のブラケットを壁にタッピンねじ（φ4×40）で仮固定する（中央の1本のねじのみ固定）。
②切断した手すりをL付受ブラケットにのせ、L付エンドブラケットまたはL付ジョイントブラケットに奥まで差し込む。
③手すりにタッピンねじ用の下穴φ2.5をあけ、①で仮固定したブラケットに、タッピンねじ（φ3.5×16）で端のブラケットから固定する。注
④反対側のL付エンドブラケット、またはL付ジョイントブラケットを手すりに差し込みブラケットを壁にタッピンねじ（φ4×で40）で仮固定する（中央の1本のねじのみ固定）。
⑤④で固定したブラケットに、固定するためのタッピンねじ用の下穴φ2.5を手すりにあけ、タッピンねじ（φ3.5×16）で固定する。注
⑥①と④で仮固定したブラケットを残りのタッピンねじ（φ4×40）で壁に本固定する。
⑦キャップを取り付ける。



注　意

手すりにタッピンねじ（φ3.5×16）で固定する場合は、φ2.5の下穴を必ずあけてください。φ2.5の下穴をあけないと、手すりが割れるおそれがあります。

裏面へつづく

6 各部材の取付方法

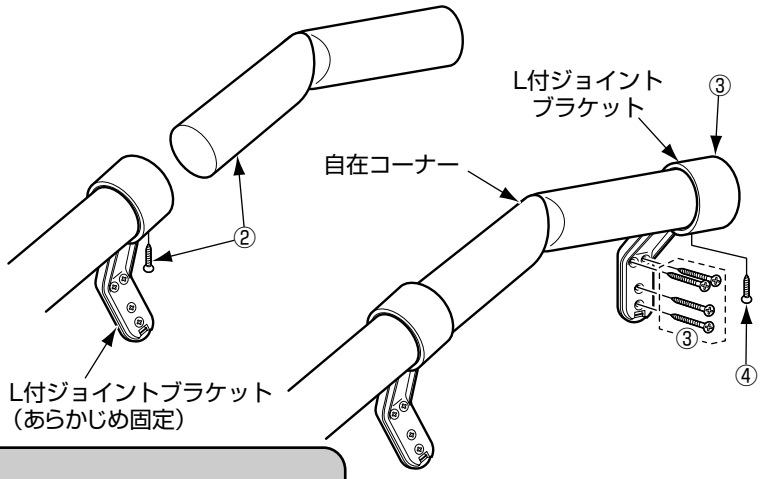
■自在コーナーの固定

①あらかじめ固定されたL付ジョイントブラケットに、自在コーナーを差し込んで、自在コーナーの曲げ角度および下穴位置を確認する。

②自在コーナーにタッピンねじ用の下穴φ2.5をあけ、L付ジョイントブラケットにタッピンねじ(φ3.5×16)で固定する。 注

③①で固定した自在コーナーの反対側にL付ジョイントブラケットを差し込み、タッピンねじ(φ4×40)で壁に固定する。

④自在コーナーに③で固定したL付ジョイントブラケットに固定するためのタッピンねじ用の下穴φ2.5をあけ、タッピンねじ(φ3.5×16)で固定する。 注



注 意

自在コーナーにタッピンねじ(φ3.5×16)で固定する場合は、φ2.5の下穴を必ずあけてください。
φ2.5の下穴をあけないと、自在コーナーが割れるおそれがあります。

■壁付エンドブラケット、エンドL型の固定

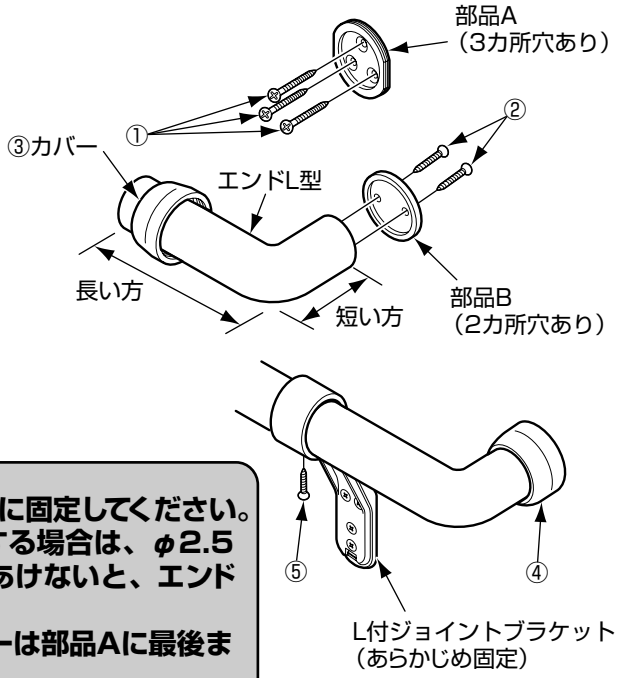
①あらかじめ固定されたL付ジョイントブラケットにエンドL型を差し込んで部品Aの位置を決め、部品Aをタッピンねじ(φ4×40)で壁に固定する。 注1

②部品Bをタッピンねじ用の下穴φ2.5をあけたエンドL型の短い方の端面にタッピンねじ(φ3.5×25)で固定する。 注2

③カバーの外径が大きい方を壁側にしてエンドL型に通し、エンドL型の長い方をあらかじめ固定されたL付ジョイントブラケットに差し込む。 注3

④カバーを部品Aにねじ込む。

⑤ジョイントブラケットと固定するためのタッピンねじ用の下穴φ2.5をエンドL型にあけ、タッピンねじ(φ3.5×16)で固定する。 注2



注 意

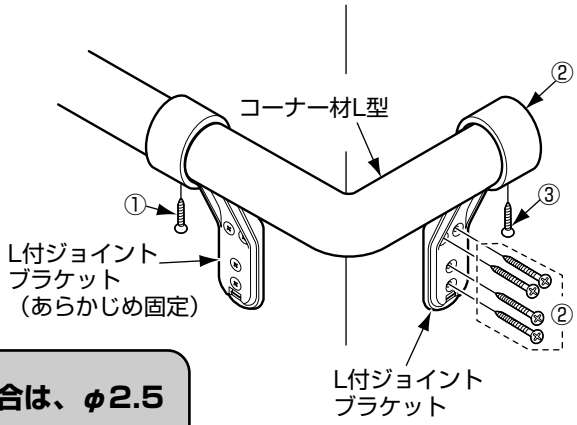
注1. 部品Aは必ず強度のある壁、もしくは建築構造体に固定してください。
注2. エンドL型にタッピンねじ(Φ3.5×16)で固定する場合は、φ2.5の下穴を必ずあけてください。φ2.5の下穴をあけないと、エンドL型が割れるおそれがあります。
注3. カバーの方向に注意してください。また、カバーは部品Aに最後までねじ込み、確実に固定してください。

■コーナー材L型の固定

①あらかじめ固定された片側のL付ジョイントブラケットに、タッピンねじ用の下穴φ2.5をあけたコーナー材L型を、タッピンねじ(φ3.5×16)で固定する。 注

②①で固定したコーナー材L型または自在コーナーの反対側にもう一方のL付ジョイントブラケットを差し込み、タッピンねじ(φ4×40)で壁に固定する。

③②で固定したL付ジョイントブラケットに、タッピンねじ用の下穴φ2.5をあけたコーナー材L型を、タッピンねじ(φ3.5×16)で固定する。 注



注 意

コーナー材L型にタッピンねじ(φ3.5×16)で固定する場合は、φ2.5の下穴を必ずあけてください。
φ2.5の下穴をあけないと、コーナー材L型が割れるおそれがあります。

■コーナー材90°の固定

●勾配部の取り付け

①水平部分の手すりをL付受けブラケット上に置く。

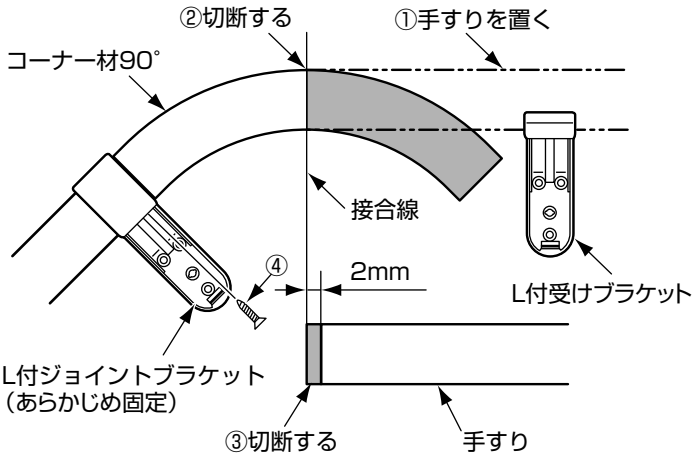
②あらかじめ固定されたL付ジョイントブラケットにコーナー材90°を差し込み①で置いた手すりとの接合線で切断する。

③水平部分の手すりは接合線より2mm(L付ジョイントブラケットの両側分の厚さ)手前で切断する。

④あらかじめ固定されたL付ジョイントブラケットに、タッピンねじ用の下穴φ2.5をあけたコーナー材90°を、タッピンねじ(φ3.5×16)で固定する。注

⑤④で固定したコーナー材90°の反対側にL付ジョイントブラケットを差し込み、タッピンねじ(φ4×40)で壁に固定する。

⑥⑤で固定したL付ジョイントブラケットに、タッピンねじ用の下穴φ2.5をあけたコーナー材90°を、タッピンねじ(φ3.5×16)で固定する。

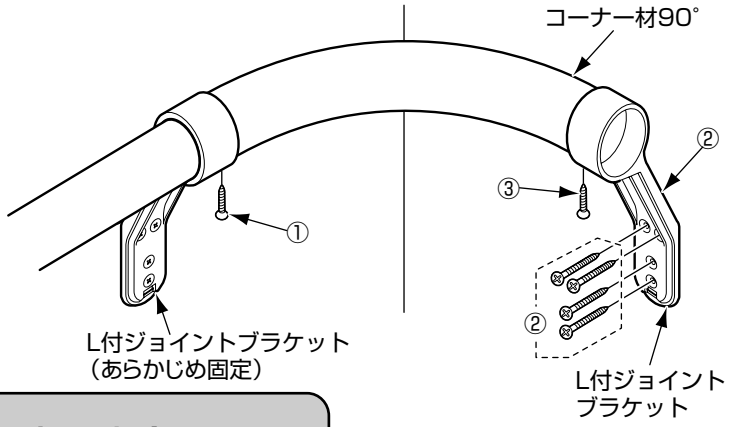


●水平部(入り隅部)の取り付け

①あらかじめ固定された片側のL付ジョイントブラケットに、タッピンねじ用の下穴φ2.5をあけたコーナー材90°を、タッピンねじ(φ3.5×16)で固定する。注

②①で固定したコーナー材90°の反対側にもう一方のL付ジョイントブラケットを差し込み、タッピンねじ(φ4×40)で壁に固定する。

③②で固定したL付ジョイントブラケットに、タッピンねじ用の下穴φ2.5をあけたコーナー材90°を、タッピンねじ(φ3.5×16)で固定する。注

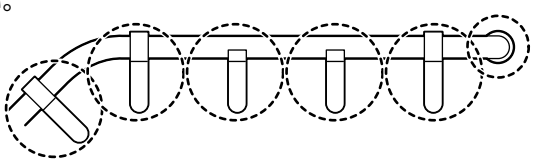


注　意

コーナー材90°にタッピンねじ(φ3.5×16)で固定する場合は、φ2.5の下穴を必ずあけてください。φ2.5の下穴をあけないと、コーナー材コーナー材90°が割れるおそれがあります。

7 点検項目

取り付けが完了したあと、手すりにガタツキがないことを確認してください。



8 補修部品

品名	入数	部品No
ブラケット用キャップ	1	EW41132#

※品番末尾の色調記号　#MW(マットホワイト)、#MS(マットシルバー)、#WS(ウォームシルバー)、#MB1(マットブラック)

9 固定金具(別売品)

コンクリート下地、コンクリートブロック下地の場合は、T110D29樹脂プラグをご使用ください。樹脂プラグの入数は20個／セットとなっております。下記表をご参考に取り付けるブラケットの必要個数に応じて発注してください。

<固定金具一覧表>

品番	T110D29
名称	樹脂プラグ
形状	φ5×25
入数	20個
下穴	φ5、深さ45mm

<対象製品と使用本数>

製品品番	本数
YHB10BB35	3本
YHB10BE35L YHB10BE35R YHB10BJ35 YHB10BU35	4本

商品のお問い合わせは
TOTO㈱ お客様相談室へ
TEL 0120−03−1010
FAX 0120−09−1010
受付時間：平日　9：00〜18：00
土・日・祝日　10：00〜18：00
(夏期休暇・年末年始を除く)

修理のご用命は
TOTOメンテナンス㈱ 修理受付センターへ
TEL 0120−1010−05
FAX 0120−1010−02
受　付：年中無休
受付時間：関東・甲信越地区 8:00〜20：00
：上記以外の地区 9:00〜20：00
訪問修理：年中無休（一部地域を除く）
営業時間：　9:00〜18：00

補修用部品のご購入は
TOTOメンテナンス㈱ TOTOパーツセンターへ
TEL 0120−8282−55
FAX 0120−8272−99
受付時間：平日　9：00〜18：00
土・日・祝日　10：00〜18：00
(夏期休暇・年末年始を除く)

インターネットホームページ　http://www.toto.co.jp/